

原町田中央通り

WS

ニュース vol.5

原町田中央通りの未来を考えよう！

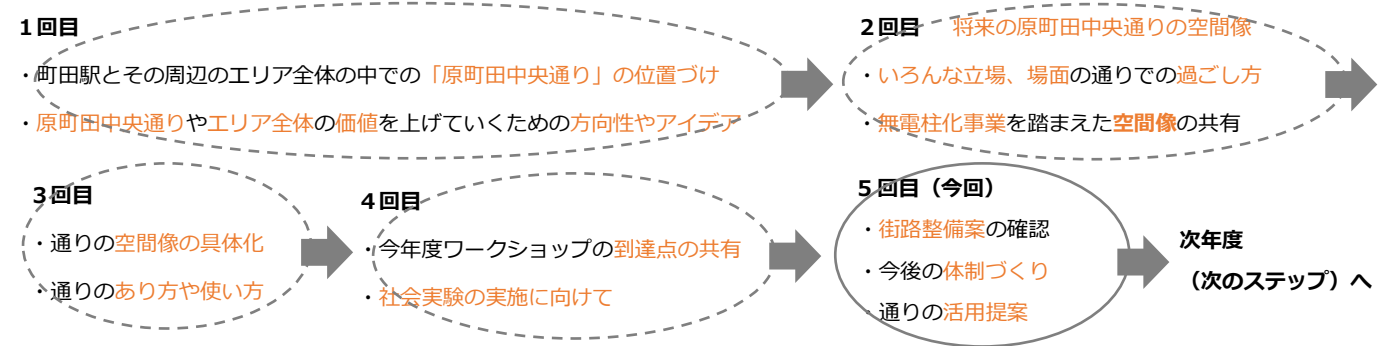
主催：町田市 協力：町田市中心市街地活性化協議会
(第5回ワークショップのテーマ)

1. これまでのワークショップの振り返り
2. 街路整備案の確認
3. 社会実験の結果報告
4. 今後の体制づくり
5. 通りの活用提案

楽しく回遊できる「町田らしい商店街」の実現に向け、中心市街地のメインストリートの一つである原町田中央通りを対象にみんなにとって良い通りの未来を描くため、これまで5回のワークショップを開催してきました。2020年1月28日（火）18:30 から町田まちづくり公社会議室にて行った第5回ワークショップの概要をまとめました。

第5回ワークショップの概要

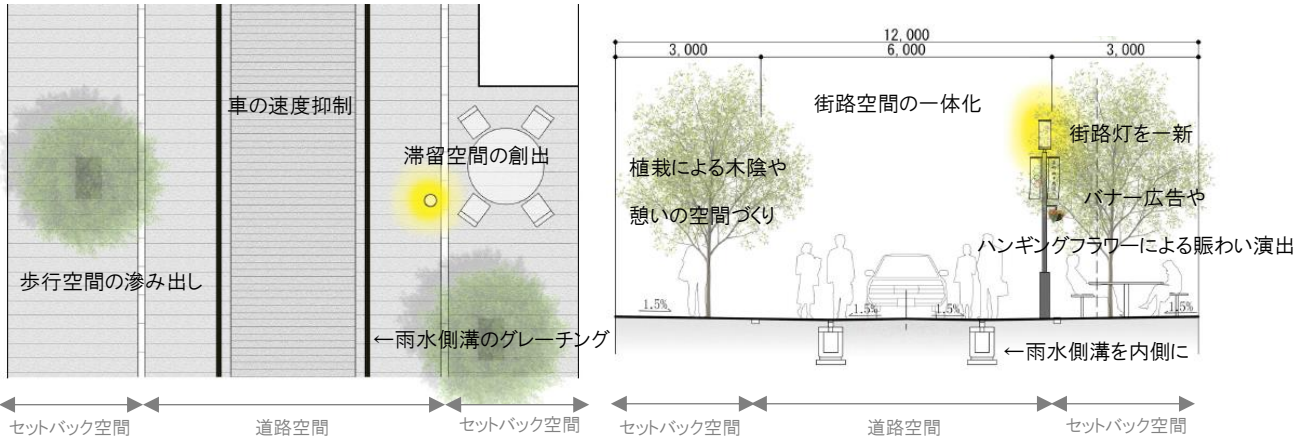
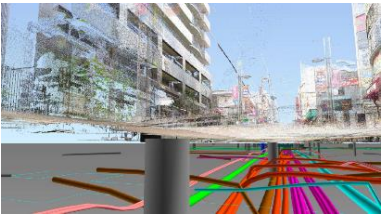
1. これまでのワークショップの振り返り



※詳細は各回のニュースをご覧ください。町田市ホームページに掲載しています。
(トップページ>暮らし>住まい・道路>都市づくり>駅周辺のまちづくりを進めています>町田駅周辺のまちづくり)

2. 街路整備案の確認（無電柱化にともなうデザイン案/地上機器等の配置案）

- ① 無電柱化事業の推進に向けた非破壊検査による水道、ガス等の既設の地下埋設管の調査状況や、地上機器の設置箇所の検討状況等について確認しました。
- ② 無電柱化事業に伴う街路整備について、これまでのワークショップでご意見をいただきながら検討を進めてきた街路デザイン案を確認しました。



【街路デザインイメージ(案)平面図】

【街路デザインイメージ(案)断面図】

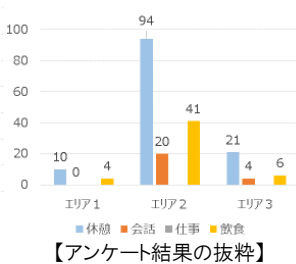
3. 社会実験の結果報告

通りの沿道空間にテーブルやイス、ベンチ等を配置し、滞留空間を設けた社会実験の結果を報告しました。
※詳細は町田市ホームページに掲載しています。(トップページ>市政情報>町田市未来づくり研究所>活動内容>GreenPlaza 研究)



【実験時の様子】

滞留空間の利用目的



4. 今後の体制づくり（検討体制やスケジュール）

市で検討している次年度の検討体制やスケジュールの案を提案しました。

① 検討体制

（仮）原町田中央通りの未来を考えよう！企画会議

役割：通りの活用提案を形にして見せる社会実験の実施に向けて、企画、準備、協議等を行います。また、企画、協議等を通じて、必要なルールや仕組みを検討します。

メンバー：ワークショップ参加者、土地建物の権利者、地元組織、商店主、その他協力者の方々

原町田中央通りデザイン調整会議

役割：無電柱化事業に伴う街路整備（幅員構成、舗装整備、街路灯の配置やデザイン、植栽計画等）に関わる協議・調整

メンバー：町田市役所内関連部署



② スケジュール

2020 年度	4～6 月	7～9 月	10～12 月	1～3 月
主な取組	・企画会議立ち上げ ・協議、準備作業	・社会実験や周知イベントの実施 ・ルールや仕組みの検討		・課題整理 ・ルール案等まとめ

5. 通りの活用提案（イメージ/アクティビティ/ルール/活動等）

これまでのワークショップで参加者の方々からいただいたアイデアについて、イメージを共有し、特に実現してみたいもの、足りないもの、その他実現する際の課題などについて意見交換を行いました。

【これまでのワークショップでいただいたアイデアの例】

通りで実現したいこと

- 空き店舗前の賑わい維持のための屋台やワゴン等の出店
- 小休憩や、ちょっとした作業のできるベンチ・立ち止れるスペース
- 若い人が新しいことを始められるチャレンジショップ等の場
- 時間帯によっていろんな過ごし方のできる広場の様な空間・芝生広場



（姫路大手前通りの事例）



（姫路大手前通りの事例）



（丸の内仲通りの事例）

- 足を止めてもらい、新たな発見があったり、通りを印象づけたりするような大道芸など様々な催しできるスペース

- お店の PR や、様々な目的の人に通りを訪れてもらうきっかけになる体験型ワークショップ
- 子どもたちが路上にお絵描きできるイベント



（神楽坂の事例）



（神楽坂の事例）



（神楽坂の事例）

【意見交換の概要】

	A グループ		B グループ
目指す姿	・まちの成り立ちや歴史を大事に・多様性が町田らしい ・出会いや交流が生まれること・場を用意あとは自由に ・多様な人が多様な過ごし方をできる受け皿に ・目的がなくても行きたくなる居心地の良い通り		・文化や歴史(二六の市、絹の道)を大事に ・コミュニケーションのあるまち・歩いてでも行きたい通り ・子育てしやすい(地域のつながり、情報交換の場) ・新しい事が生まれる(創業支援)
街路整備	・誰でも使いやすくバリアフリーに ・ユニバーサルなデザイン	・地上機器の配置や高さ配慮・樹木に限らずプランタや花壇でもよい ・部分的にでも中木があると良い(常葉樹の方が管理しやすい)	
空間活用	・平日と休日、日常とイベント時、大人と学生の 需要の違いを考慮 ・過ごしやすい形、レイアウト、デザインの工夫・ 建物用途や間口等場所に応じた使い方 ・チビヒロやお絵描き等囲んで集まると会話が生まれる、銭湯のようで日本人は好きだと思う	・地域の交流が生まれるイベント・対面販売・古着市・フリーマーケット・物々交換・子ども食堂・ギャラリースペース・夏場の暑さ対策(木陰、建物に入る)・お寺の空間落ち着く ・いろんなタイプのベンチ(寝られないもの) ・アーケードが必要か、オープンモールが良いか ・オーニングや庇は通りの彩りにもなる	
ルールや 仕組み	・固定のものや仮設のものとの組み合わせ ・主体となる人(テーブル・イスを出し入れする人・場を提供する人・出店者・ルールを管理する人) ・夜間の騒音対策・駐輪対策(中心部の外側に駐輪場を配置・レンタサイクル)・荷捌き対策		・植栽を維持管理する組織(マネジメント体制)が必要 ・シンボルツリーなら地元で管理できる ・庇を設ける場合高さを揃える ・対面販売ができる仕掛けづくり ・ベンチャーの人たちを支えられる仕組み ・スペース(ハコ)を貸しの仕組み
検討の進め方	・小・中学生のアイデア・意見取り入れる ・広報に力を入れる ・社会実験で宣伝効果 ・出店者を交えてどんな需要があるか探りながら ・いろいろ試しながら優先順位を決める ・将来の姿の見本を作って見せる ・まちの魅力を高めることが、商売につながることを伝えられるとよい	・将来の技術革新(AIや自動運転など)による、商業需要や交通体系等の変化を考慮する ・周辺エリアも含んだ広い視点で	

【ご記入いただいたシートの概要】(参加者 11 名の内9名の方にご記入いただきました。)

- (1) アイデアシートの中で、推したいものは？
- ※アイデアシートは町田市ホームページに掲載しています。
- (トップページ>暮らし>住まい・道路>都市づくり>駅周辺のまちづくりを進めています>町田駅周辺のまちづくり)

◇大事にしたい考え

「商店街の魅力を継承すること」・・・商店街の歴史や文化を活かし二六の市を再現すること（デザインでの再現、イベントとしての再現）、「ゆっくり滞在できる居心地の良い場所を提供すること」・・・居心地の良い場所にするには、開放的すぎない奥まった配置、植栽での目隠し等利用者への配慮が必要

◇実現したいアイデア

・3票「屋台やワゴン等の出店」「車両規制の範囲や時間帯の見直し」

・2票「チャレンジショップ」「自転車の押し歩きルールや駐輪対策」「誘導サイン」「小休憩できるベンチ」「セットバック空間の使い方のルール」「パブリックビューイング」「全体をマネジメントできる仕組み」

・1票「学生が集まったり勉強したり安心して過ごせる場所」「荷捌きの仕組み」「路地とのつながり」

- (2) アイデアシートの中に足りない考えやアイデアは？
- ・いろいろな人の意見を聴くこと（赤ちゃんのいる若いお母さんなど）保健所の検診に出向くなど
- ・芹ヶ谷公園、シバヒロを含めたもう少し広域的なまちの中の中央通りの位置づけ

- ・周辺と違和感のないような地上機器の配置やデザインの配慮・アイデア
- ・アーケードの必要性や部分的な庇の設置について議論して、考えを共有しておく必要がある
- ・若い世代（小・中・高校生）も参加して意見を提案できるワークショップにしてほしい
- ・町の楽しさ、面白さというのは、無目的に行きたくなる、行ってみたいまちのことだと思います

- (3) 次年度の企画会議への参加について
- 「参加したい」8名、「未記入」1名
- (4) 自由記述
- ・地中化したときの引き込み切り替えの経費
- ・用地を市に移管するメリットや手法の検討を
- ・まち歩きマップの作成等協力できる
- ・全体をマネジメントする仕組み、我慢強く持続できるバックアップできるフレキシブルなシステムが必須
- ・誰もが訪れやすいことを目指すために、障がいのある方、親子など多くの方から話をきくこと、実際に一緒に歩いて検証することなどが必要
- ・原点である「町田らしい商店街」の議論をもう少し深掘した方が良い
- ・町田らしさは多様性にあると思うので、無電柱化と同時にユニバーサルデザインの整備を

ワークショップの様子



おわりに

真野先生から

・今年度のワークショップでは、参加者のみなさんと、整備、デザイン、セットバック空間の利用のルールの議論ができ、段階的に内容を深めていくことで、これから無電柱化の整備を進め、快適な通りにしていくための課題やアイデアが見えてきた。

・次年度は、整備内容を定めていく段階、今回、意見を聞けていないテナントやオーナー、利用者の方々にもヒアリングしながら、次のステップに向けてスタートする。

・もっと広く取り組みを知ってもらうために、広報の仕方をもっと工夫しながら進めていきたい。

小野寺先生から

・街路デザインと沿道空間の利用の話は、並行して検討を進めるべき。

・次年度は、照明や樹木など、デザインについて、もっと細かい部分まで議論していきたい。

今後の予定

今年度のワークショップでみなさまと議論してきたことを次年度につなげるため、「(仮)原町田中央通りの未来を考えよう！企画会議」の設置を予定しています。引き続き、真野先生や小野寺先生にご協力いただきながら、議論を進めていく予定です。活動内容や参加者募集については、今回のご意見も踏まえて整理し、改めて町田市広報やホームページ等でご案内いたします。

<お問い合わせ> 町田市地区街づくり課 042-724-4266 メール：mcity4090@city.machida.tokyo.jp